

薬剤耐性（AMR）アクションプランの進捗

国立国際医療研究センター病院

AMR臨床リファレンスセンター

大曲 貴夫



国立国際医療研究センター AMR臨床リファレンスセンター

AMR Clinical Reference Center (AMRCRC)



薬剤耐性（AMR）対策を推進するため、AMRアクションプラン（国際的に脅威となる感染症対策閣僚会議）に基づく業務を行う



<臨床疫学事業>

AMRアクションプランに基づく臨床疫学に係る業務を行う（サーベイランス、地域連携支援、耐性菌アウトブレイク対策の実施を支援）

医療関連感染症・感染症診療・
感染対策指標サーベイランス

薬剤耐性菌・主要検出菌
サーベイランス

抗菌薬使用量・抗菌薬適正使用推進
サーベイランス

情報の集約

地域連携支援の実施

国や地域のベンチマークデータの作成、
AMR対策の向上

<AMR対策情報・教育支援事業>

薬剤耐性（AMR）対策アクションプランに基づく情報・教育に係る業務を行う（研修企画・運営、コンソーシアム事務局、薬剤耐性情報サービス）

国民・医療者

薬剤耐性情報サービス

- ・ 薬剤耐性に関する相談窓口
- ・ E-learning開発・公表
- ・ 教育資材の開発等
- ・ ウェブサイトの運用
- ・ アウトブレイク時の相談支援

教材を提供

研修企画・運営

- ・ 入門的な研修会（自治体担当者・社会福祉関係）
- ・ 教育研修（地域の医療従事者）
- ・ 実地疫学研修

情報提供

人材を登録

コンソーシアム事務局

- ・ コンソーシアム開催
- ・ マニュアル・ガイドライン案作成
- ・ 特定層（患児・小児・施設入所者など）への啓発素材の作成
- ・ 人材登録の体制構築・運営
- ・ 市民モニター側からの意見聴取

定例会議

内容を評価

感染症教育

コンソーシアム

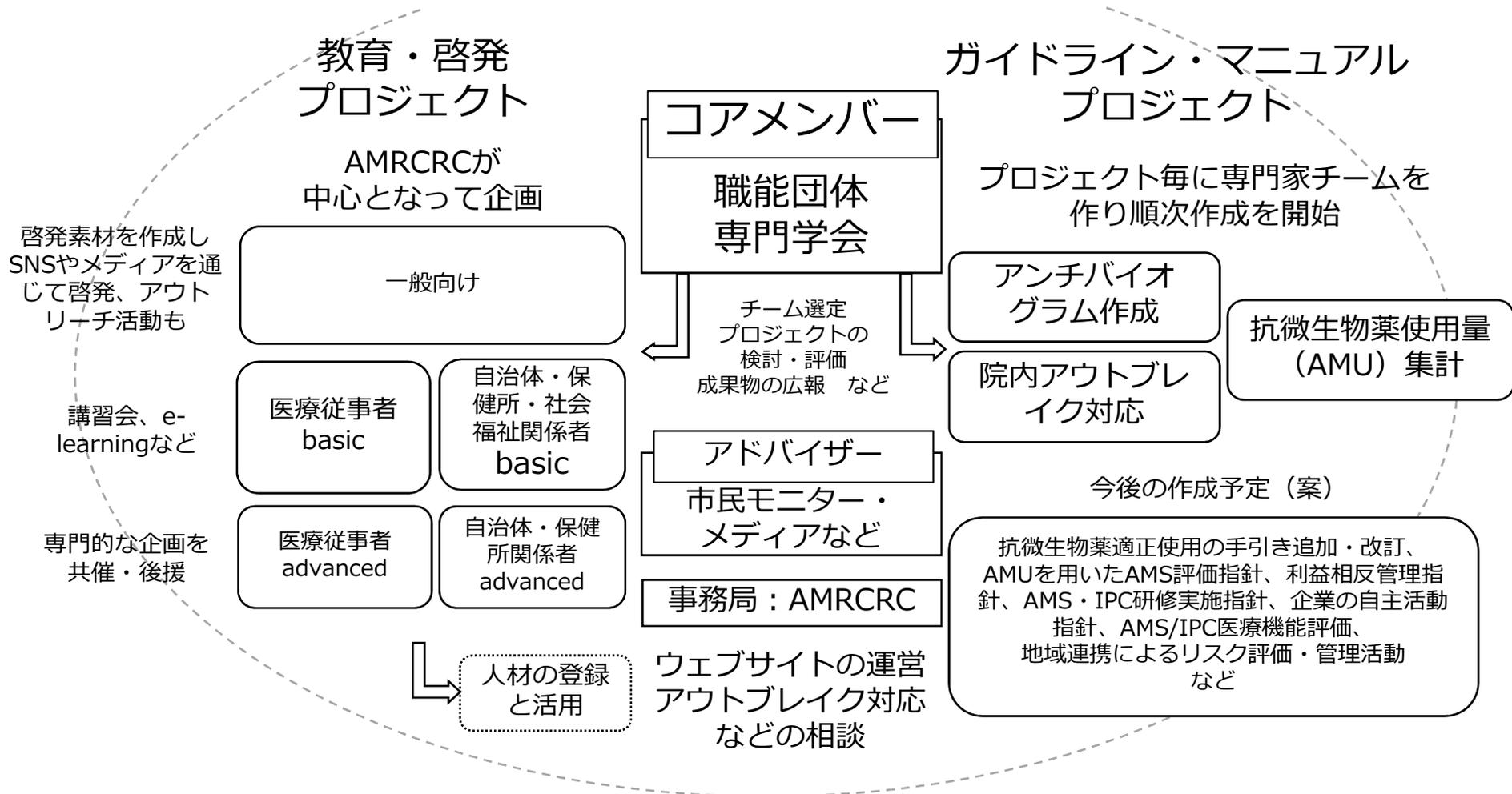
- ・ マニュアル等の評価
- ・ 研修普及啓発実地の評価

事務作業を指示



国立国際医療センター AMR臨床リファレンスセンター 情報・教育支援部門

感染症教育コンソーシアム



啓発用ウェブサイトの公開（9月15日）



<http://amr.ncgm.go.jp/>

SNSを用いた啓発活動

Facebook



一般向け @NCGMAMR



医療従事者向け @AMRCRCJAPAN

Twitter



一般・医療従事者向け
@AMRCRC_JAPAN

啓発資材の作成

インフォグラフィック

ポスター・リーフレット

今から出来る6つの薬剤耐性予防



1. 抗菌薬は医師の処方箋が必要です

2. 抗菌薬は医師の指示通り飲みます

3. 抗菌薬をとっておいてあとで飲まない

4. 抗菌薬をあげない、もらわない

5. わからないことは医師や薬剤師に聞こう

6. 感染症を予防しよう

「かしこく治して、明日につなぐ」
～抗菌薬を上手に使ってAMR対策～

AMR
Clinical Reference Center
厚生労働省薬研事業

人・抗生物質 新時代
抗生物質 抗菌薬
抗生物質・抗菌薬が効かなくなる未来に立ち向かえ!

AMR対策

いきまあーす!

みんなにも
できることがあるんだ

あなたにできること

- 感染を防ぐために、日頃から手洗い・咳エチケットをする
- 医療機関などで、
 - 症状を医師に詳しく伝える
 - 分からないことは医師や薬剤師に聞く
 - 量と期間を守って最後まで抗生物質・抗菌薬を服用する

かしく治して、明日につなぐ
～抗菌薬を上手に使ってAMR対策～



詳しくはこちら

厚生労働省 AMR
Clinical Reference Center

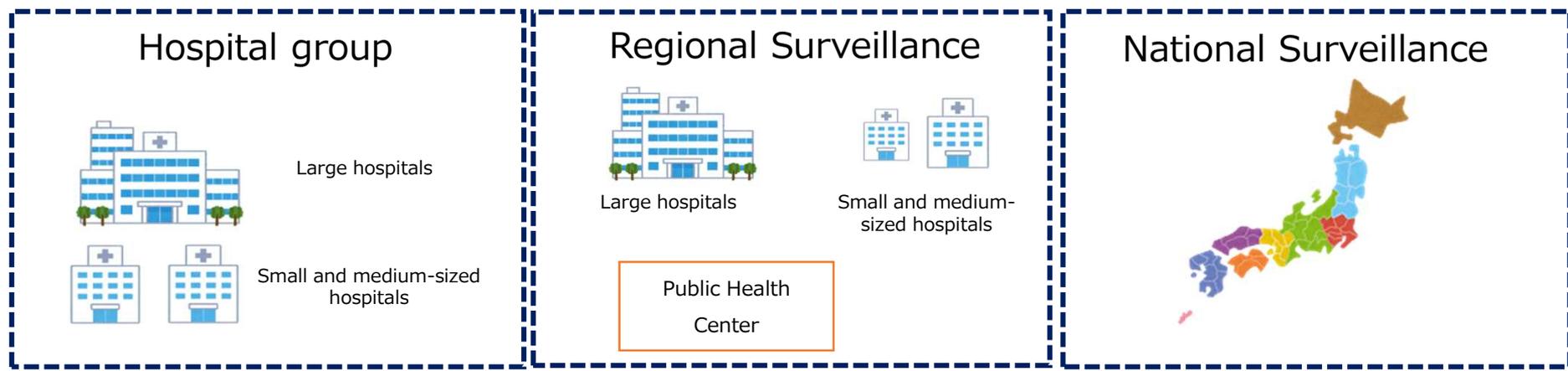
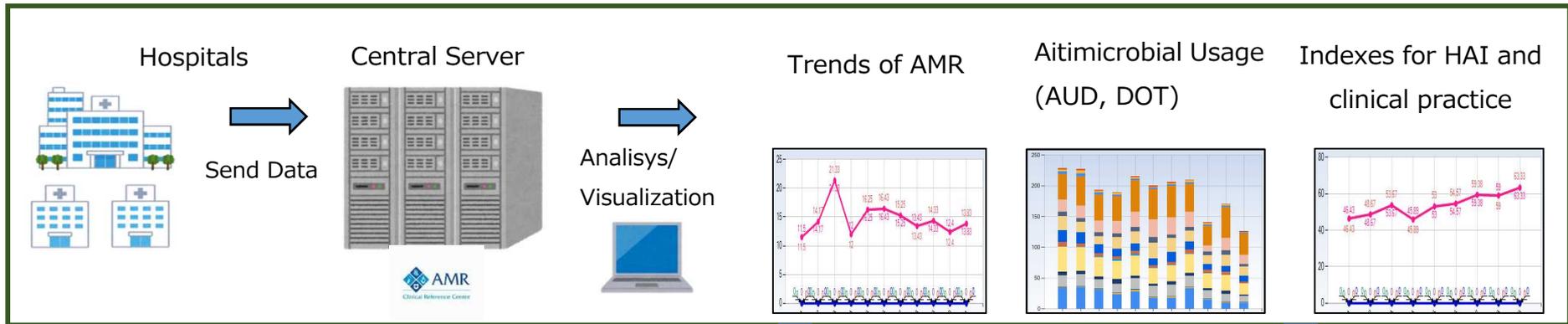
※AMRとは、病原体が変化して抗生物質・抗菌薬が効かなくなることで

非売品

J-SIPHE : Japan Surveillance for Infection Prevention and Healthcare Epidemiology



Clinical Epidemiology Unit,
AMR Clinical Reference Center, NCGM



「薬剤耐性ワンヘルス動向調査」Webサイト概要

- ▼開設日：2018年4月3日（火）
- ▼名称：薬剤耐性ワンヘルス動向調査
- ▼URL：<https://amr-onehealth.ncgm.go.jp>



【サイトの概要と目的】

ワンヘルスの視点から、ヒト、動物、農業、食品及び環境の各分野の薬剤耐性菌の状況並びにヒト及び動物の抗菌薬の使用量(または販売量)に関する日本を代表する情報を一つに集約して掲載した初のサイトです。日本における関係各分野の状況をひとつのサイトにまとめあげたことは、薬剤耐性(AMR)対策の大きな一歩です。これらは、世界に発信できる数々の動向調査が日本に存在していることを示しています。

本サイトを踏まえて、多分野間の連携・協力が進み、AMR対策の更なる前進が期待されるとともに、今後も先進的な調査への取組を続けることが、世界のAMR対策をリードする上でも重要と考えられます。

The screenshot shows the homepage of the AMR One Health website. The header features the 'One Health' logo and navigation links for 'Home', 'Site Purpose', 'Statistics Data', 'Surveillance Activities', and 'Notice'. The main content area has a blue background with the text: 'Antibiotics, antimicrobials will become ineffective in the future, so we must act now.', 'Antimicrobial Resistance', 'AMR One Health Trend Survey', and '2017 Annual Report'. A white box contains a definition of AMR and information about the website's purpose.

AMR(薬剤耐性)とは、病原体が変化して抗生物質が効かなくなることです。
また、抗生物質・抗菌薬の使用に伴って、AMR(薬剤耐性)が起こることがあります。
本サイトは、日本国内の各分野における、薬剤耐性菌・抗微生物薬使用量の現状、及び動向の調査結果をまとめ、広く認識を持っていただくべく情報を公開しております。

薬剤耐性ワンヘルスWebサイトオープンのお知らせ

「都道府県別抗菌薬使用量 (販売量) 集計データ」

- ▼展開日：2018年4月3日 (火)
- ▼名称：AMR臨床リファレンスセンター公式サイト
- ▼URL：<http://amrcrc.ncgm.go.jp/index.html>

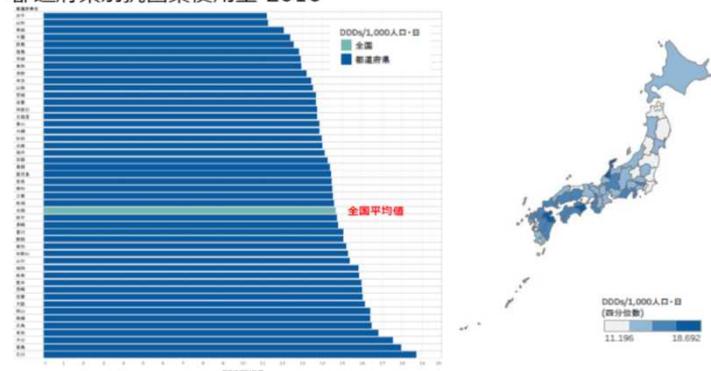


都道府県別抗菌薬使用量2013年～2016年の4年間のデータ (抗菌薬種類別/投与経路別) など国内初発表

AMR臨床リファレンスセンターでは、薬剤耐性(AMR)アクションプランを実行すべく、都道府県別抗菌薬使用量や使用増減率を発表することにより、医療従事者をはじめ行政団体への抗菌薬処方量の意識改革につながる情報を発信を行います。サーベイランス事業を通じて更なる情報の収集・分析・発信を積極的に行い、薬剤耐性(AMR)の認知、啓発を行ってまいります。

「国内都道府県別抗菌薬使用量 (販売量) 集計データ」

都道府県別抗菌薬使用量 2016



都道府県別抗菌薬使用増減率 2013～2016

